

●お願い…出隅以外の組立て・取付け及び施工上のご注意・製品の取扱いについては、レーネテラスⅡ本体に同梱してある取付け説明書をご覧ください。

## 作業手順

- 柱位置出し・基礎穴掘り
- 垂木かけの取付け
- 棟木への部品取付け
- 柱の取付け
- 棟木と垂木かけの接続
- けたの取付け
- 前枠の取付け
- 垂木・野縁の取付け
- 前枠雨樋部のシーリング
- 屋根パネル・棟木カバーの取付け

## 部材の加工寸法

●専用部材寸法

出幅(D)	出隅棟木(L)	出隅棟木カバー(L)
3R(885)	1182	1310
4R(1185)	1610.5	1738.5
5R(1485)	2038	2166
6R(1785)	2464.5	2592.5

※出幅4尺と6尺が規格サイズです。  
3尺・5尺用の場合は、左表に基づき切り詰めてください。

(参考) 出隅棟木切詰め寸法公式  

$$L = (D - D_1) \times 1.425$$
 取付け側  
 直近上位規格サイズ

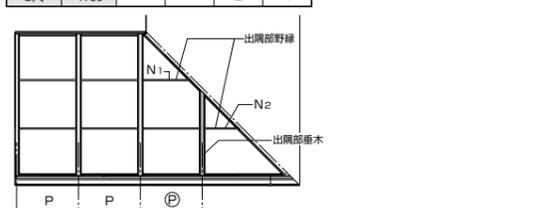
●出隅部垂木・野縁寸法表(L)

出幅(D)	垂木	野縁		屋根材カバー
		N1	N2※	
3R	-	-	-	-
4R	379.6 317.4	601	-	523.4 461.2
5R	-	734.4	-	-
6R	627.5 996.7 935.5	551.7	519.9 459.9	771.3 1140.3 1079.3

●各部材寸法算出公式・寸法表(L)

●前枠 = D + (P × S) - 165.81  
 ●けた = D + (P × S) - 185.81  
 ●垂木かけ = P × S + 80

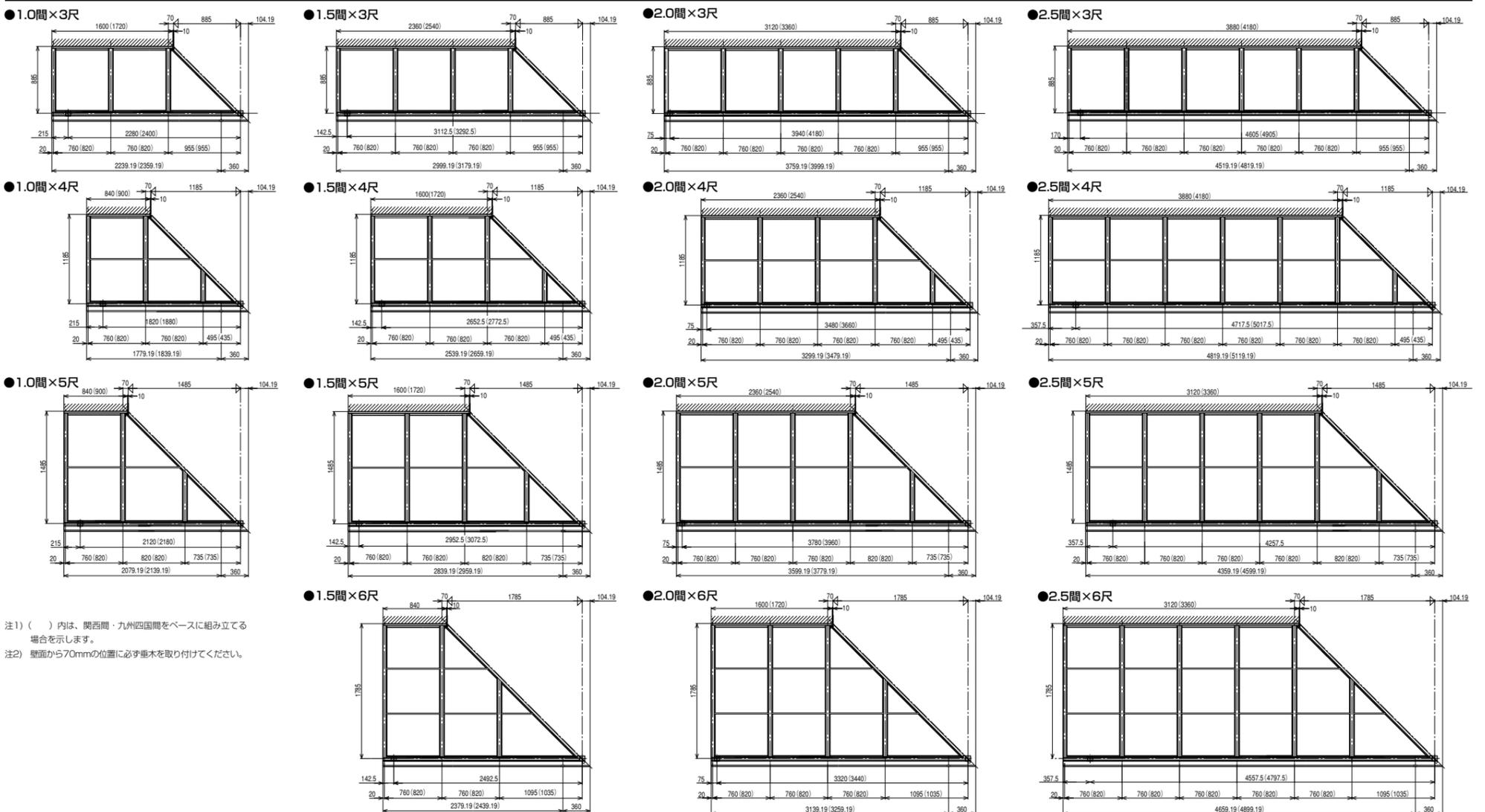
出幅(D)	S				タイプ	P	⊙
	1間	1.5間	2間	2.5間			
3R	885	2	2	4	5	760	820
4R	1185	1	2	3	5	760	760
5R	1485	1	2	3	4	820	820
6R	1785	-	-	2	4	-	-



## 部材の加工・取付け上のお願い

- 屋根部材の加工方法は、垂木ピッチ本位で算出するものです。すなわち、垂木ピッチが通常より狭くなる場合はすべて切り詰めます。そのため、タイプによっては切詰め長さが長くなる場合もあります。(出隅部分以外での屋根パネルの切断はありません。)
- 現場・躯体の状況により、各部材の寸法は異なる場合がありますので、施工の際は調査・検討の上、加工してください。
- 垂木かけの垂木取付け穴は下図姿図に従って、右図加工図上のA寸法の位置に加工してください。
- 1間×6尺は製作不可です。
- 開東間5尺の場合に限り出隅部垂木ピッチは開西間ピッチ(⊙=820)にしてください。
- 間口2.5間ベースで組み立てる場合、及び1500形の場合は、必ずけた付きにしてください。

## 姿図

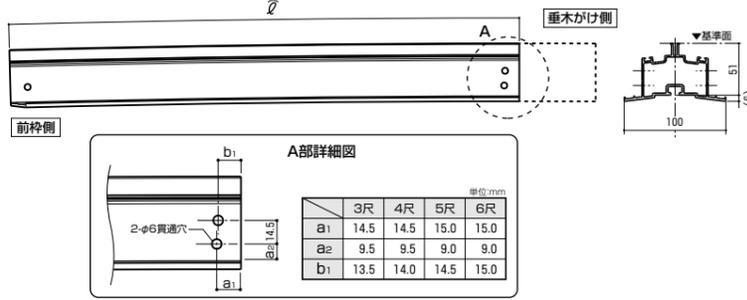


注1) ( ) 内は、開西間・九州四国間をベースに組み立てる場合を示します。  
 注2) 壁面から70mmの位置に必ず垂木を取り付けてください。

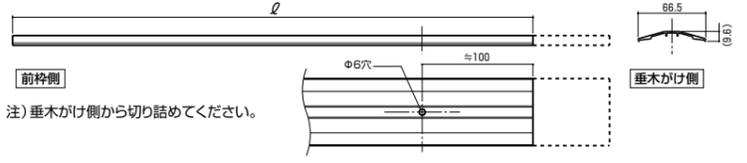
## 部材の加工

### ●出隅棟木

注) 3尺、5尺用は下図のように垂木かけ側を切り詰めてから穴加工を行ってください。  
 4尺、6尺用は切り詰めに、穴加工のみを行ってください。  
 ・L寸法は図中の基準面を計測してください。

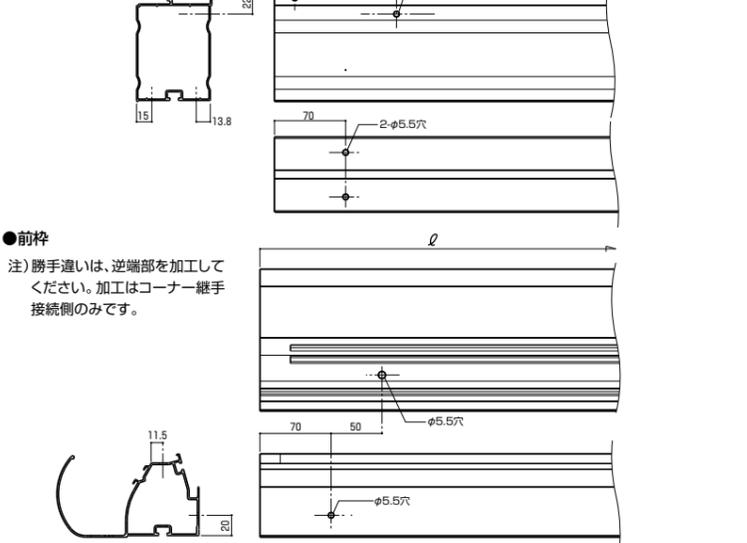


### ●出隅棟木カバー (出幅、3尺・5尺の場合)



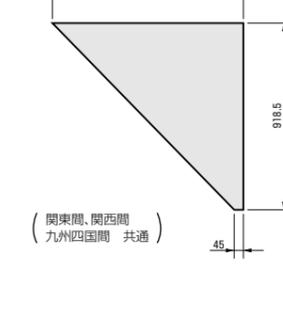
### ●けた

注) 勝手違いは、逆端部を加工してください。加工はコーナー継手接続側のみです。

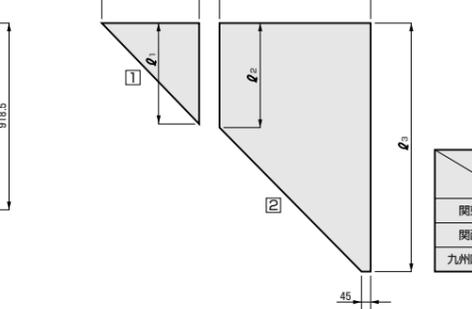


### ●屋根パネル寸法

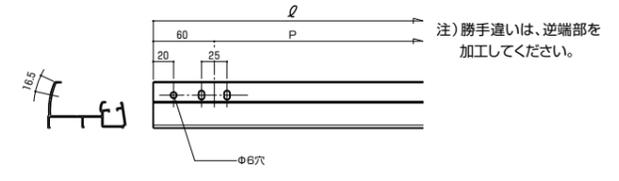
#### ●3尺



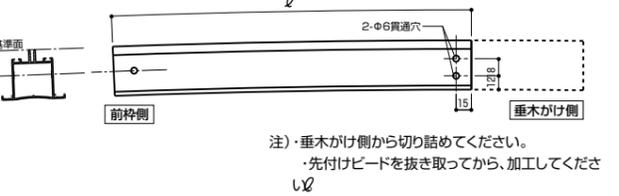
#### ●4・5・6尺



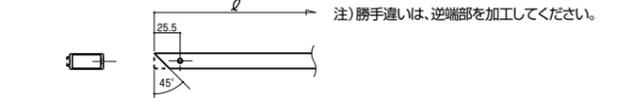
### ●垂木掛け



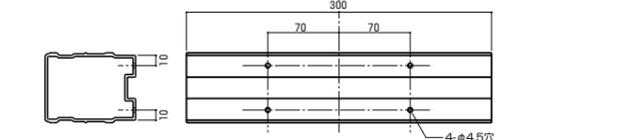
### ●垂木



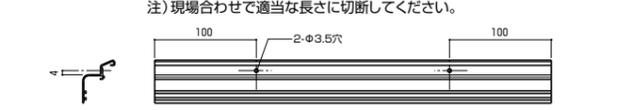
### ●野縁



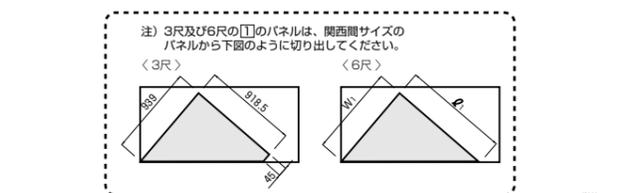
### ●けたスリーブ



### ●パネルカバー



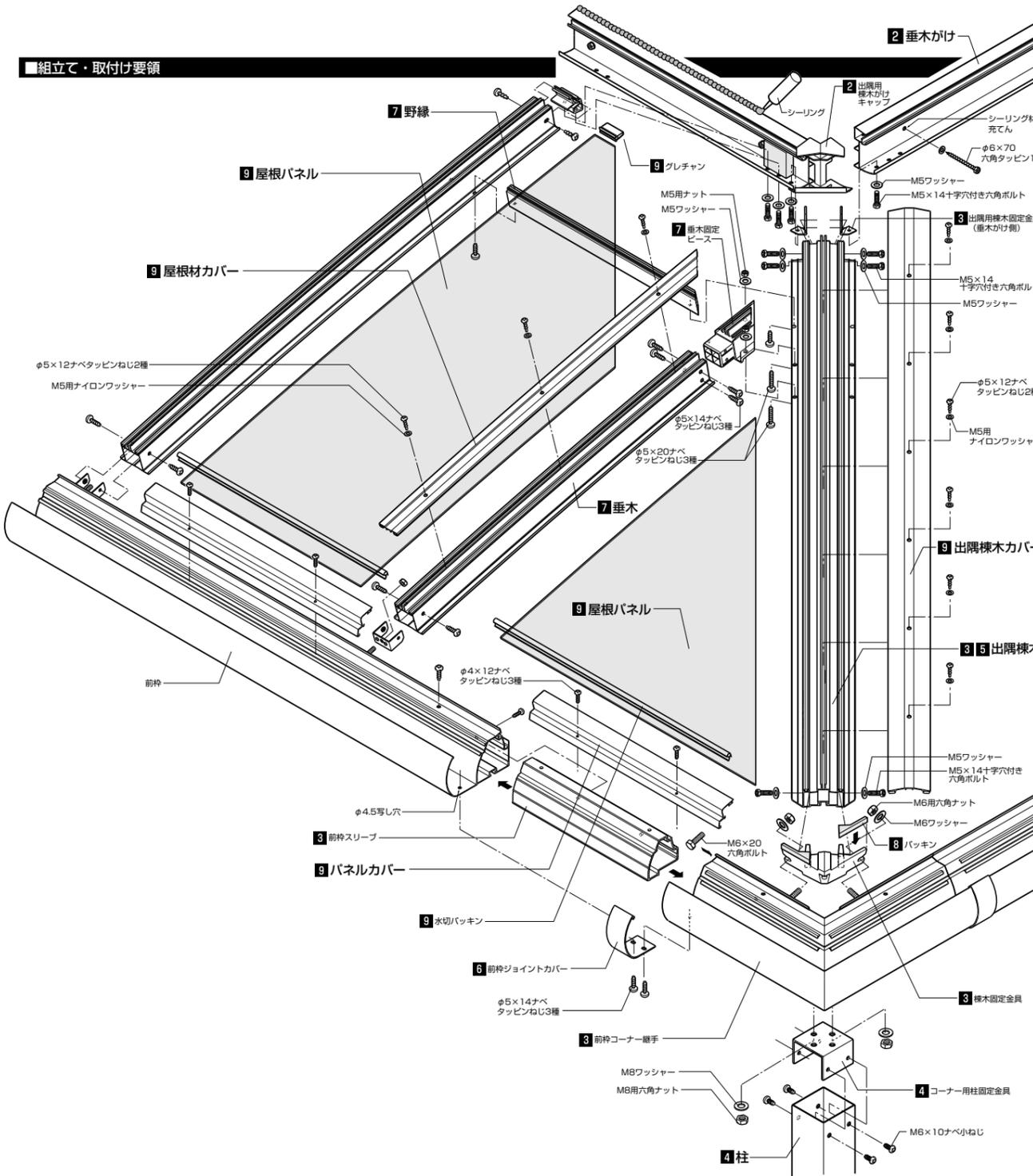
### ●屋根材カバー



	4 R				5 R				6 R						
	W1	L1	W2	L2	W1	L1	W2	L2	W1	L1	W2	L2			
開東間	479	496.5	743	514	1222.5	719	743	803	760.5	1525.5	1079	1110	743	1127.5	1827.5
開西間	419	435	803	452	1222.5	719	743	803	760.5	1525.5	1019	1049.5	803	1066.5	1827.5
九州四国間															

注) 開東間5尺のパネル②は地方間用から切断します。

■組立て・取付け要領



1 柱位置出し・基礎穴掘り

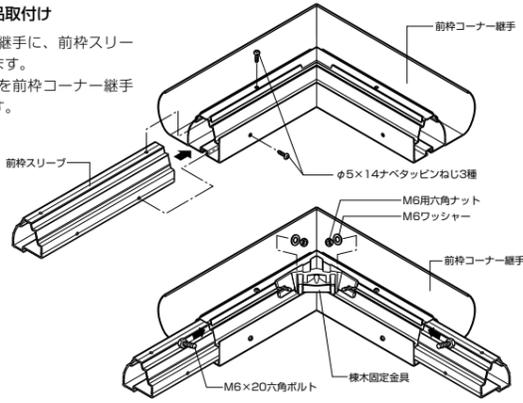
●姿図より、柱埋め込み位置を出し、基礎穴を掘ってください。

2 垂木かけの取付け

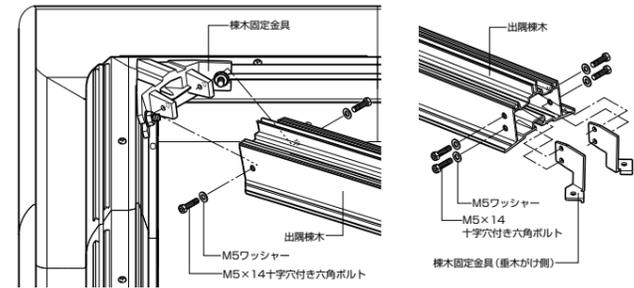
- ①出隅用垂木掛けキャップの下端を「垂木掛け取付け下端寸法-2mm」の位置に合わせて仮固定し、それに合わせて垂木掛けを取り付けます。その際、必ず水準器で水平を出してください。
  - ②躯体と垂木掛けの透き間にシーリングしてください。
- ※垂木掛けは必ず躯体の柱・間柱など構造材に取り付けてください。コーナー部は特に確実に取り付けてください。

3 棟木への部品取付け

- ①前枠コーナー継手に、前枠スリーブを取り付けます。
- ②棟木固定金具を前枠コーナー継手に取り付けます。

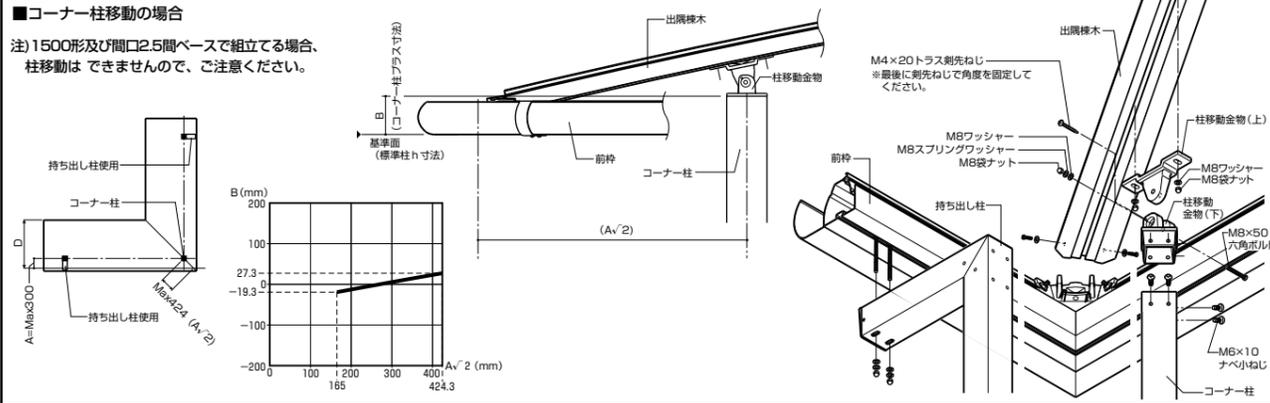


●棟木固定金具、棟木固定金具(垂木掛け側)を棟木に固定します。



■コーナー柱移動の場合

注)1500形及び間口2.5間ベースで組立てる場合、柱移動はできませんので、ご注意ください。



5 棟木と垂木かけの接続

- 棟木を垂木掛けに取り付けます。穴が合わない場合には、出隅用棟木固定金具を固定しているねじをゆるめて、調整しながら取り付けてください。

6 前枠の取付け

【600形の場合】

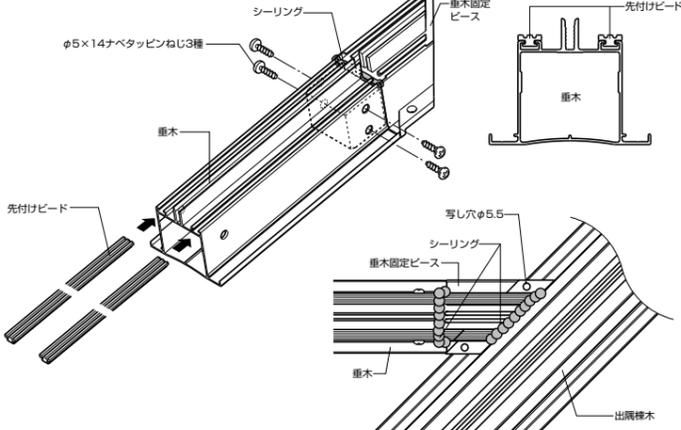
- 前枠の端部に柱を取り付け、前枠コーナー継手と接続します。
- 前枠コーナー継手と前枠の継ぎ目に前枠ジョイントカバーを取り付けます。

【1500形の場合】

- けたの端部に柱を取り付け、けたコーナー継手と接続します。
- 前枠コーナー継手と前枠を接続し、けたの穴に合わせて前枠に写し穴φ4.5をあけてねじ止めします。

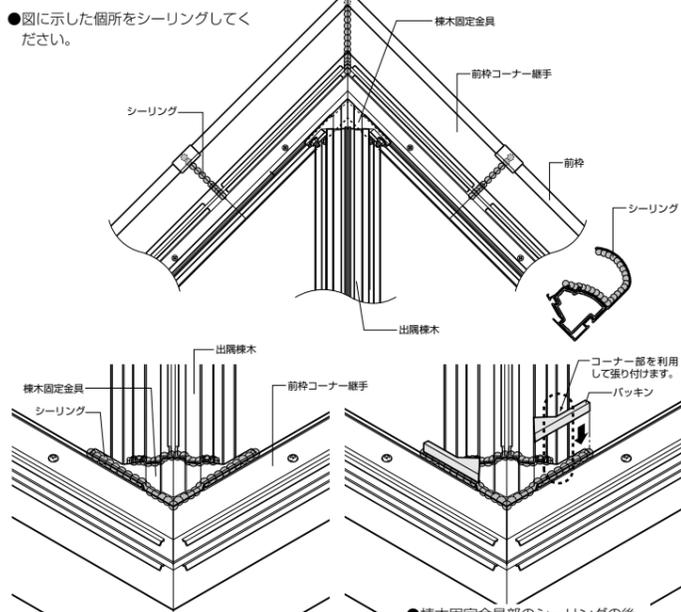
7 垂木・野縁の取付け

- 先付けビードを抜き取った垂木を加工し、垂木固定ベースを取り付けます。
- 垂木と垂木固定ベースのジョイント部をシーリングします。
- 抜きとった先付けビードをビードホールに差し込み、垂木固定ベース端に合わせ、切断します。
- 垂木固定ベースの穴に合わせて、棟木に写し穴φ5.5をあけて取り付けます。
- 棟木と垂木固定ベースのジョイント部をシーリングします。
- 野縁は棟木にφ5.5の取付け穴をあけて、取り付けます。



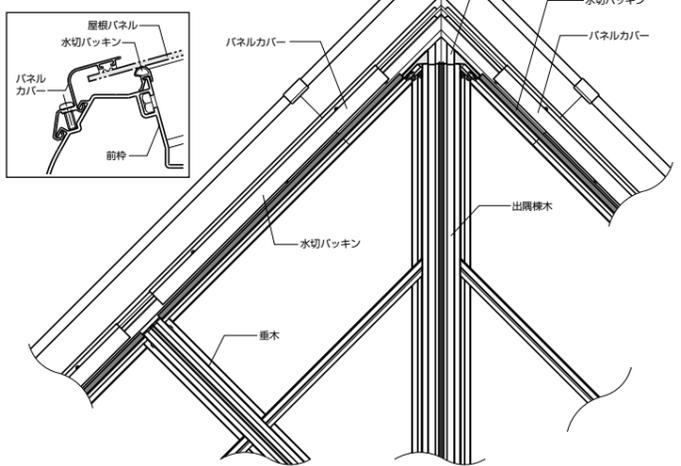
8 前枠雨樋部のシーリング

- 図に示した箇所をシーリングしてください。



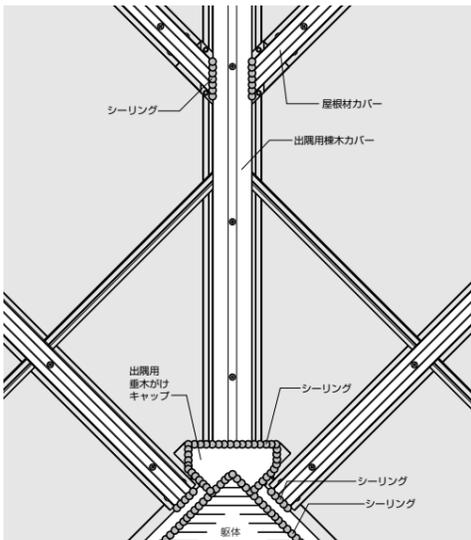
9 屋根パネル・棟木カバーの取付け

- 前枠にパネルカバー、水切パッキンを取り付けます。(水切パッキンが長い場合は、適当な長さに切断、短い場合は、つぎたてて取り付けます。)



●約35mmに切断したグレチャンを、屋根パネルに付け、垂木かけ及びパネルカバーに取り付けます。(三角形のアクリルには、グレチャンはつけません。)

- 棟木カバーを出隅用垂木掛けキャップの下にもぐり込ませて、ねじ止めした後、屋根材カバーを取り付けてください。
- 右図指定部位を、確実にシーリングしてください。



●柱基礎

- 柱埋め込み穴をコンクリート(またはモルタル)で埋めてください。
- 詳細はレーネテラスII本体に同梱の取付け説明書に従ってください。